にじ

あなたと
NOSAIをつなぐ
かけはし

P2-6 特集 第20回通常総代会
被災農家の早期経営再建にむけ
NOSAIの役割を果たす

P8-9 収入保険
予期せぬリスクから
農業経営を守ります

P13 職員配置
４月１日付け人事

安心のネットワーク
NOSAI
石川県農業共済組合

夏
2025
Vol.42

備えの種をまこう。

第20回通常総代会を開催

被災農家の早期経営再建にむけNOSAIの役割を果たす

5月31日、当組合において、総代103名（書面出席を含む）の出席をいただき、第20回通常総代会を開催しました。田中肇組合長のあいさつに続き、吉田健一県農林水産部長より祝辞をいただきました。議長には、七尾市の法京廣照総代が選出され、提出した10議案すべてが原案通り可決承認されました。

組合長理事　田中　肇

あいさつの要旨

昨年は元日の能登半島地震、更には、9月の豪雨と2度にわたり奥能登地域を中心に甚大な被害に見舞われました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

NOSAI団体として、水稲共済、建物共済を中心に、被害状況の把握と迅速な損害評価、早期の共済金支払いに組織を挙げて取り組んで参りました。改めて自然の脅威を痛感している昨今であります。

共済金の早期支払いを実現

農作物共済、畑作物共済、園芸施設共済、任意共済を含めた全事業で、総額32億9，167万円余りの共済金を、被災農家の皆様にお支払いいたしました。共済金の早期支払いの実現にあたり、関係各位のご尽力に対し、改めて感謝申し上げる次第であります。

私たちNOSAIは、収入減少や災害等に見舞われた農業者の早期の経営再建に向け、共済金の早期支払いはもとより、つなぎ資金による迅速な資金対応、適時適切な情報提供に取り組んでいます。農業経営の基幹的セーフティネットとしての役割を果たすべく、役職員一丸となり、収入保険及び農業共済の生産現場への、更なる浸透と加入拡大に取り組む所存です。

事業計画の必達を

本年度は、収入保険では、1，326経営体の加入を目指し、地域農業で重要な役割を果たしている農業者、新規就農者等へ重点的に働きかけを行い、制度の理解を得ながら、推進に取り組むこととします。

農業共済事業では総共済金額4，720億円余の必達を事業計画に据え、各種農業施策と連携し、農家の皆さまからの信頼を確保するため、法令等を遵守した適正な団体運営に努めてまいります。

◆提出された議案◆

- **議案第1号**　事業規程の一部変更議決の件
- **議案第2号**　令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案承認の件
- **議案第3号**　令和7年度事業予定計画書及び収支予算書議決の件
- **議案第4号**　令和7年度事務費賦課金徴収額及び徴収方法議決の件
- **議案第5号**　役員、顧問弁護士、損害評価会委員及び共済部長報酬議決の件
- **議案第6号**　借入金最高限度額及び借入条件議決の件
- **議案第7号**　特別積立金取り崩し限度額議決の件
- **議案第8号**　余裕金預入先議決の件
- **議案第9号**　危険段階別共済掛金率設定議決の件
- **議案第10号**　職員給与規則の一部改正承認の件

議長に選出された法京総代

総代数 104人	
本人出席	43人
書面出席	60人
出席計	103人

祝辞を述べる
吉田健一県農林水産部長

国の新たな基本計画に即し

令和7年4月に策定された、国の新たな「食料・農業・農村基本計画」では、「自然災害への対応」の中で、農業保険の普及を図ることが明記されました。

具体的な方向として、「我が国の食料供給」の中長期的なセーフティネット対策として、収入保険については「重点的に推進していくこと」、農作物共済をはじめとする収穫共済については「制度を抜本的に検討すること」、全体のあり方については、「類似制度の集約も含めて検討すること」と示されています。

そのため、農業保険全体について、新たな基本計画で示された方向に即し、事業展開を進めてまいります。また、情報の収集並びに組合員への情報提供等に努め、必要に応じてNOSAI団体内部の検討を進めてまいります。

今後も地域農業のために

今後さらに、安定した団体運営基盤を確立し、常に、農家の皆様、地域農業のため、その機能を果たすことを責務とし、皆様の負託に応えてまいる所存でございます。

表　彰

全国農業共済協会長表彰

任意共済の加入推進において、顕著な功績のあった方を表彰しました。（敬称略）

事業推進功績者表彰

【農機具共済の部】

なでしこ第一営農組合
代　表　中田　茂　（川北町）
　　中橋　政久　（輪島市）

石川県農業共済組合長表彰

農業保険事業の普及又は加入に貢献された方に感謝状を贈呈しました。（敬称略）

【建物共済の部】

（株）農家ふじた
代表取締役　藤田　晶美　（小松市）
　　杉本　照雄　（野々市市）

弥勒（みろく）町
代　表　弥浦　修一　（金沢市）

【農機具共済の部】

櫛（くぬぎ）　幸子　（小松市）

（農）アグリてどり
代表理事　瀬川麻衣子　（能美市）

（株）F.Kファーマーズ
代表取締役　柏木　優輝　（金沢市）

（株）おおさわファーム
代表取締役　大沢　朗正　（内灘町）

（農）アグテック熊木野
代表理事　川上　伸　（七尾市）

【収入保険の部】

南出　耕市　（小松市）
西尾　哲彦　（金沢市）

（株）米屋ファーム
代表取締役　魚住　文男　（白山市）
　　池　徹哉　（輪島市）

総代会に先立ち、田中組合長より表彰を授与された池徹哉総代（右）

全ての農家に安心を

令和6年度共済金 32 億 9,167 万円を支払い
令和7年度総共済金額 4,720 億 4,121 万円を計画

◆ 令和6年度事業実績

		組合員数（人）	引受数量	共済金額（千円）	徴収掛金（千円）	支払対象	支払共済金（千円）
農作物共済	水稲	6,130	12,240ha	9,209,865	2,901	308 人	55,762
	麦	89	637ha	228,899	5,177	61 人	27,615
家畜共済	死廃	(実) 46	11,594 頭	811,133	13,483	352 頭	22,562
	疾病	(実) 48	4,869 頭	38,927	14,448	4,860 件	30,956
果樹共済		59	34ha	33,756	586	12 人	3,601
畑作物共済		57	392ha	102,351	3,638	36 人	14,963
園芸施設共済		(実) 1,050	3,948 棟	2,234,367	14,438	301 棟	43,800
建物共済		(実) 19,785	32,261 棟	451,757,380	462,750	1,849 棟	3,053,820
農機具共済		(実) 694	2,869 台	11,441,330	57,799	208 台	38,591
計		27,958		475,858,008	575,220		3,291,670

◆ 令和7年度事業計画

		引受数量	共済金額（千円）	主な引受計画と実施方策
農作物共済	水稲	11,286ha	8,608,838	●関係機関と連携し、一体化用紙の回収に努め、有資格農家を把握し適正な引受を行います ●水稲・麦において、農家のニーズに応じた引受方式を推進し、無保険者を発生させないように努めます
	麦	549ha	176,265	
家畜共済		15,962 頭	911,271	●補償の充実を図るため、農家ごとの事故実績を提示し、死亡廃用共済は低付保割合農家に対する最高補償割合への引上げ、疾病傷害共済は適正な最高補償共済金額への選択を促し、両者を一体とした加入推進を行います
果樹共済		30ha	32,442	●有資格農家の把握に努め、農家ニーズに沿った引受方式を最高の補償が受けられるよう加入を推進します
畑作物共済		368ha	99,843	●生産者団体及び関係機関との連携を密にし、担い手及び集落営農組織の情報を正確に把握し、各種交付金の対象となる作付面積等と整合性をとり、適正な引受に努めます
園芸施設共済		4,281 棟	2,332,847	●さらなる補償の充実や掛金等の割引制度を農家に周知し、引受の拡大と補償の充実に努めます ●有資格調査を徹底し、新規就農者、他保険契約満了者、クロスコンプライアンス利用者の完全引受及び水稲育苗ハウスの加入推進を重点的に行います
建物共済		32,049 棟	448,339,120	●加入者の自然災害に対する備えの関心が高まる中、建物総合共済への転換を積極的に行うとともに、共済金額増額及び、建物火災共済とのセットでの満額加入推進を図ります
農機具共済		2,890 台	11,540,580	●適切な共済価額の把握を行い、共済金額の増額等満額推進を図るとともに、補償の拡充に向け、臨時費用担保特約の付帯を勧めます。農業用ドローンについては、補償内容及び免責規定などを農家に十分説明し加入推進に努めます
計			472,041,206	

◆ 収入保険

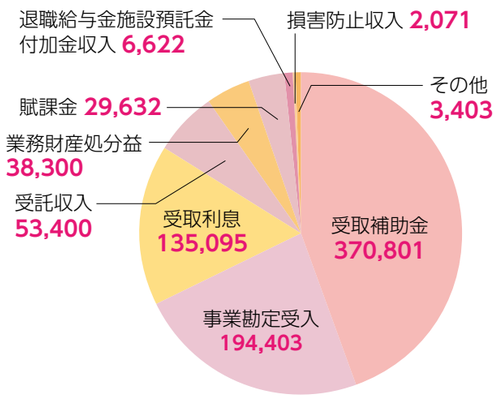
	令和6年度引受経営体数	令和7年度引受計画経営体数	引受計画と実施方策
収入保険	1,165	1,326	●青色申告実施農家（認定農業者等）で未加入先を訪問します。未実施農家に対しては青色申告のメリットを説明し、実施を勧め、加入を促します。 ●農家ニーズに合わせ、積立方式併用タイプ・保険方式補償充実タイプ・補償限度が選択できることを提案します

令和7年度業務収支予算書

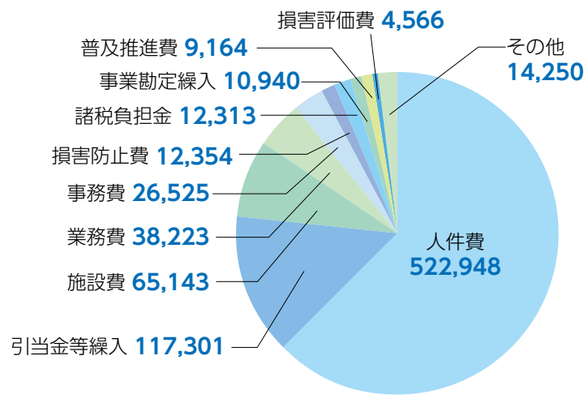
事務の効率化を図り、経費の節減に努めます
事業の推進状況を勘案しながら予算執行計画に基づき、厳格な予算統制を図ります

予算総額：8億3,373万円

■収入の部 単位（千円）



■支出の部 単位（千円）



執行体制の主な取り組み

事務効率の向上と合理化に努め より安定した事業運営を目指します

事務執行体制の方針

参事統括の下、管理職の責任体制を明確にし、適材適所への職員配置に努め、グループ制による推進体制の強化を図り、効率的な事務執行に努めます。

農業共済団体に対する監督指針に沿った取り組み

継続的に安定した事業運営・組織運営が行えるよう、業務の合理化、効率化の観点から業務収支の将来見通し等、中長期計画を策定し、必要に応じて随時見直します。

コンプライアンス態勢の強化・実践

公共性の高いNOSAI団体への信頼を維持・確保するため、整備した体制の下、コンプライアンス強化のための研修の反復実施、内部検査の実施等各種方策を、コンプライアンス・プログラムに沿って実践します。

「未来へつなぐ」サポート運動の推進

『安心をすべての農家に届けよう』の「未来へつなぐ」サポート運動の目標達成に向けて、「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」を役職員の行動スローガンに掲げ、具体的取り組みについて組織全体で実践します。

農家の経営展開に即したセーフティネットの提供、総合性・地域性を踏まえた農業保険の加入推進、人材育成と役職員の資質向上、事業運営基盤の強化、広報・広聴活動の強化を、運動の推進課題として取り組みます。

特集
第20回通常総代会

事業推進の実施方策

制度の充実と普及で農業経営を支援します

収入保険

大規模農家を訪問し提案型の推進をします

農業法人及び大規模農家を中心に訪問推進を実施します。農家ニーズに合わせて、様々な選択肢をご提案します。また、基準収入の特例措置やつなぎ資金など農家にとって有利となる情報を積極的に提供し、加入の拡大に繋げることで、農業経営を支えていきます。

水稲共済

全相殺方式をおすすめします

JA等へ乾燥調製作業を全量依頼している農家、又は税申告者で収穫量が把握できる帳簿を保管している農家には全相殺方式又は品質方式をおすすめしています。青色申告書等調査及び白色申告関係書類や過去の収穫量等が確認できる関係書類、現地確認により、引受を行います。

建物共済

特約による補償の拡充により加入拡大に努めます

小損害実損塡補特約が、8月より最大50万円に拡充されます。的確な補償額の提示と、徹底した制度説明で、継続加入や新規加入の推進に努めます。継続加入の際は、手続きが簡単な自動継続特約の活用を進めていきます。

農機具共済

加入限度の引き上げにより積極的に推進します

加入限度額が8月より一台あたり3，000万円に引き上げられます。法人及び大規模農家の所有するトラクタ、田植機、コンバインの主要三機種の加入推進を積極的に行います。

園芸施設共済

災害を想定し補償の充実に努めます

頻発する農業用ハウスの被害に対応するために、補償の充実や掛金等の割引制度を農家に周知し、引受の拡大と補償の充実に努めます。

損害防止事業

機器購入費の一部助成

農作物共済、果樹共済及び畑作物共済事業の健全な運営を図ることを目的に、損害防止に要する対象機器を購入した経費の一部を助成します。

交付対象機器

令和7年1月1日から同年12月31日までの間に購入した以下の機器

※対象となる機器は本体のみです

①動力噴霧機（器）

1台当たり購入額20万円以上に限る

②農薬散布ドローン

1台当たり購入額40万円以上に限る

③水田乗用管理機（ブームスプレーヤ）・産業用無人ヘリコプター

1台当たり購入額 50万円以上に限る

④スピードスプレーヤ（SS）

1台当たり購入額 50万円以上に限る

詳しい交付要領はコチラ

その他の損害防止活動

- クロップナビ（気象データーの提供）
- 病害虫発生予察
- 無人ヘリコプター防除 等

クロップナビとは・・・

県内4か所の水田に設置し、気温・降水量、風速、日照時間、葉濡れ時間などを測定しています。測定データは、当組合のホームページで閲覧できます。

（問い合わせ）管轄のグループ

水稲共済

水稲共済掛金の納入は7月31日まで

被害調査は8月中旬から

引受

耕地等情報を確認しましょう

7月上旬に加入者の方に「水稲共済加入承諾書兼共済掛金等払込通知書・耕地情報」を郵送します。

同通知書には、先に提出された水稲共済加入申込書及び現地確認等の結果に基づき算出した、令和7年産の水稲共済掛金及び賦課金の金額等が記載されています。

水稲作付けに変更・訂正があった場合は、管轄のグループへご連絡ください。

掛金納入は口座振替で

左の期日で掛金等を振替します。あらかじめ指定口座の残高確認をお願いします。

振替口座を登録していない方は、期限までに掛金等の納入をお願いします。

【掛金等振替日】

- ●JA　7月18日
- ●JA以外　7月22日

※期限までに掛金等の納入がない場合は、加入できませんので、ご注意ください。

納入期限　7月31日

損害評価

水稲の生育状況に合わせて8月中旬より被害申告の取りまとめを行います。

対象となる共済事故は

風水害、干害、ひょう害、冷害、凍霜害、雪害、雨害湿潤害、土壌湿潤害、その他気象上の原因（地震及び噴火を含む）による災害、火災、病害、虫害、鳥害、獣害。

ただし、薬害等人為的な災害は含みません。

加入方式ごとの補償対象は

【全相殺方式】

加入者ごとの基準収穫量に対して、引受耕地全体の1割を超える減収があった場合

【半相殺方式】

加入者ごとの基準収穫量に対して、被害耕地の減収量の合計が1・5割を超える場合

耕地ごとに5割以上減収した場合

一筆半損特例により、支払い対象となります。該当する耕地すべてを申告して下さい。

被害申告のポイント

共済事故による減収や損害が見込まれるときは、各集落のNOSAI部長または管轄のグループまでご連絡ください。

被害申告は刈り取る前に

必ず刈り取り前に申告手続きをしてください。収穫後に被害申告をした場合は、適正に損害評価ができないため、共済金を支払うことができません。

【連絡する事項】

- ●耕地の地名地番
- ●被害耕地の見込み収量
- ●災害名
- ●災害の発生日
- ●刈取り予定日

予期せぬリスクから農業経営を守ります

「もしも」にそなえる、あなたへのエール。

収入保険

収入保険加入で経営充実

収入保険は、すべての農作物を対象にした総合的な保険です。
自然災害や価格低下だけでなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少を補償します。

加入者の声

震災後 つなぎ資金が再建の力に

内灘町
●川辺（かわべ） 明宏（あきひろ）さん（52歳）
◆経営内容◆
水稲 18ha

内灘町西荒屋で水稲を栽培しています。専業農家の父を手伝う形で約10年前に就農し、今年の1月に父が急逝したため経営を引き継ぎました。

地震で12ヘクタール作付け不能に

昨年の能登半島地震では、液状化により住宅や道路に甚大な被害が発生しました。集落内の様子は一変し、避難や解体により閑散とした状態です。農地は地割れして砂が噴出し、隆起や陥没が起こり、水路は給水も排水もできない状態に損傷し、計画していた水稲16ヘクタールのうち12ヘクタールが作付けできませんでした。

収入の減少が確実となり、保険金等の支払時期より前に受け取れるつなぎ資金を申請しました。農機具代の支払いや生活費に充てることができて、本当に助かりました。収入保険に加入していた父に感謝です。

復旧した水田に田植え

今年は、約1年をかけて全水田が復旧したため、発災前より2ヘクタール増の規模で作付けします。今年の田植え作業は、工事の進捗に合わせて何回も育苗したり、土質が安定せず機械がはまったりと、例年より時間がかかり苦労しました。この先も収穫まで慎重に管理しようと思います。今後は、父が取り組んできた特産品の「内灘もち」や、ふるさと納税の返礼品を続け、売り上げ向上を目指していきます。

加入者のみなさまへ

営農計画の変更や事故発生はすみやかにNOSAIへ連絡してください

作付面積や作物を変更した場合

お手元の保険証書に添付されている営農計画書の内容に変更がある場合は、農作物等の作付け後1か月以内に通知してください。

事故が発生した場合

収入が減少する事故（被害）が発生した際は遅滞なく通知してください。価格低下など、減収や品質低下以外の事故も通知してください。

事故発生通知の遅れは免責 令和7年契約より厳格化

従来から、営農計画の変更通知や事故発生通知の遅れは「免責」とされていましたが、令和7年契約より厳格に運用されます。

現地確認等で被害を確認できる状態が保持されている期間に通知してください。通知が遅れた場合は、保険金等の支払いが免責となり、減額されますのでご注意ください。

無利子のつなぎ資金

収入保険の保険金等の支払いは、保険期間の終了後になります。しかし、自然災害や価格低下等により補てん金の受け取りが見込まれる場合、保険期間中であっても無利子の「つなぎ資金」を受けることができます。保険金等を受取るまでのつなぎとしてご利用ください。

※遅滞なく事故発生通知をした後、「つなぎ資金」の利用を申し出てください。

詳しくはこちら
収入保険

質問箱 保険料の払い込み

Q 保険料等の口座振替について、残高不足等で振替不能になった場合、どのように対応するのですか？

A 口座振替日は、毎月26日であり、振替不能になった場合、その旨の通知がありますので、翻月の口座振替日に引き落としができるよう準備をお願いします。加入者からの口座振込による対応はできませんので、ご了承ください。

収入保険 新規加入推進中

お気軽にお声かけください

農業保険推進担当

今年度より、本所事業部の事業1課に農業保険推進担当を設置し、法人を中心に、収入保険の新規加入を推進します。農家の皆さまのもとを訪問する予定ですので、収入保険のご質問だけでなく、園芸施設共済や農機具共済などについてもお気軽にご相談ください。

未加入の方は、まずはお見積もりから。お気軽にお問合せください。

わがまち＊この人

水稲・野菜栽培
農地の有効活用で高収益を目指す

加賀市　㈱シモデグリーンファーム

水稲と野菜などを栽培する加賀市水田丸町の株式会社シモデグリーンファーム（下出幸緒代表取締役・57）は、経営面積70ヘクタールで、適地適作と農地の効率的な利用により、収益性の高い経営に取り組む。

ケロッコを収穫中の下出代表

山間地にはブロッコリー

水稲25ヘクタールと並んで経営の軸となっているブロッコリーでは、市内の作付面積の約一割を作付し、出荷量は市内トップ。主に山間部のほ場で栽培。水稲ではイノシシによる獣害が深刻だが、ブロッコリーは被害がほとんどない。

水稲・大麦・大豆の2年3作や、水稲あとや大豆あとにブロッコリーを栽培する2毛作に取り組むなど、農地を有効に活用している。

6棟の農業ハウスでは、ケールとブロッコリーを掛け合わせた新野菜「ケロッコ」やフリージア「エアリーフローラ」など、栽培管理しやすい冬作物を模索中だ。

「農業は自由度が高くやりがいがある」と話す下出代表

雇用・人材育成に注力

現在、代表家族以外に、常勤で10代から50代の4人の社員が働いている。昨年は高校からの新卒採用を実現。下出代表は、社員の大型特殊の運転免許やドローンの操縦免許などの取得を奨励し、人材育成に力を注ぐ。

下出代表は、「産業として農業の地位向上を図り、時代に合った雇用条件や作業環境を整えた会社にしたい」と話し、「地域の遊休農地を減らし、経営面積100ヘクタールを目指す」と奮闘を続ける。

ゴマ栽培
手作業で手間暇かけて

白山市　松田健二さん（74歳）

白山市松本町の松田健二さんは、水稲60アールを栽培しながら、5年前からゴマ栽培し、直売所で販売している。

6月上旬に水稲育苗後の苗箱に種をまき、育苗後移植する。定植・収穫・選別など、手間暇のかかる作業だが、水稲の農繁期と重ならないことが利点だ。

「ゴマ栽培はすべて手作業で非効率だが、それができるのが小規模農家の強みだ。これからもこつこつと作業をしていきたい」と話す。

就労支援事業所
野菜加工で障がい者の就労を支援

津幡町　㈱愛昴

「規格外の廃棄野菜が大量にあることを知り、主力事業として野菜加工に取り組んでいます」と話すのは、津幡町中橋の株式会社愛昴の代表取締役の田中真由美さん（64）。

自社で販売している加工品を紹介する田中さん（中央）と施設職員

同社が運営する就労継続支援B型事業所米ライフでは、令和3年7月に野菜の急速冷凍加工センターを開設し、規格外の野菜などを仕入れ、加工・出荷している。

すべて手作業で「加賀丸いも」の2次加工をする利用者

JAとの取引で特産品を加工

取引先には県内のJAがあり、「加賀丸いも」のすりおろしや学校給食などに使用するカット加工に取り組んでいる。また、能登からは、震災後、特産のクリの加工依頼にも応じた。

JA根上営農販売課長の本村宏人さんは、「県内で加工処理できるのはスピーディーで助かる。年々加工済み野菜の需要は高まっており、今後もお願いしていきたい」と話す。田中さんは、「加工後の出荷先が課題であり、加工品を買い取る取引はありがたい」と話す。

加工品はロングセラー

同事業所では、これまでもコメや野菜の栽培や、農産物加工による就労支援事業を展開してきた。自家産タケノコのメンマや米粉ドーナツの製造も行っており、中でもメンマはロングセラー商品となっている。

田中さんは、「農産物の自主生産に取り組み、加工につなげて、障がい者の収入向上を図りたい」と話している。

サツマイモ
チップや焼き芋に加工

珠洲市　皆口英樹さん（46歳）

珠洲市正院町の皆口英樹さんは、昨年の地震と豪雨で、イチゴとアズキに甚大なダメージを受け、復旧のめどは2026年以降となっている。

その中で、被災の影響が少なかったサツマイモの栽培に注力し、加工品への取り組みを加速。「サツマイモチップ」や、半真空の「冷凍の焼き芋」を商品化し、販売を始めている。

「将来は、自家産の農作物でスイーツを作り、地元の方や観光客が集まる店を作りたい」と前向きに話している。

わがまち＊この人

原木シイタケ栽培
障がい者が生き生きと農作業

七尾市 福祉事業所 ゆうの丘

七尾市の障がい福祉サービス事業所「ゆうの丘」では、原木シイタケ栽培で障がい者の就労を支援している。「のと115」の栽培に取り組んで13年。植菌したほだ木4千本を管理し、年間約500キロを収穫。そのうち約7割を乾燥加工する。施設利用者は、水やりや収穫、乾燥作業などを受け持っている。

昨年の地震では、組んであったほだ木が崩れ破損。新たに植菌し栽培を再開した。損壊した乾燥施設や機材は、NPO団体の支援を受けて再建した。今年は、地震前の水準の出荷数を目標にしている。

本田雄志理事長（81）は、「農作業は心と体に良く、食料生産に携わることが施設利用者の自信につながっている」と話し、利用者の所得向上や就労のサポートを続けている。

「収穫体験イベントなどを企画し、交流を図りたい」と話す本田理事長（左）

傘の大きさ、厚み、巻き込みなど高品質のシイタケが生産されている

無化学農薬・無化学肥料
柴山潟の環境に優しいコメづくり

加賀市
かが有機農法研究会
代表 田中友晴（たなかともはる）さん（50歳）

かが有機農法研究会では、「水鳥が集まる柴山潟の環境を良くしたい」と化学農薬や化学肥料を使用しないコメを栽培している。潟周辺の水稲農家が集まり、平成26年に結成。種つくりや水管理、除草対策などを一から学んだ。

現在10戸の農家が10ヘクタールで栽培。食味にも自ら厳しい基準を課しており、圃場ごとにサンプルを検査して、基準に達したものだけを「あぢの郷米加賀のティール」として、インターネットの直販サイトなどで販売している。

また、ドイツやフランスなどの海外への販売や、一時栽培が途絶えた北陸原産の農林21号を復活させるなど、独自の活動を展開。田中友晴代表は、「環境を守り安全で循環型の農業を目指していきたい」と話している。

「長年の取り組みで土が変わり食味にも自信がある」と話す田中代表

「ティール」とは小型のカモ類のことでラベルにデザインされている

職員配置 より効率的に 農業経営をサポート

令和7年4月1日付人事

事業推進部は3グループ体制で、組合員のみなさまのもとへお伺いします。職員一丸となって業務の効率化を図るとともに、農業保険の普及拡大に努めます。ご理解とご協力をお願いいたします。

参事
荒井　守

■事業推進部

事業推進部長	西出　泰章

■南加賀グループ

南加賀グループリーダー		細山　真	（能美市）
本所	GSL	軽海　由里	（加賀市・小松市）
	主査	細山　敦司	（加賀市）
	主査	福田　貴法	（小松市）
	係	花市　充史	（加賀市）
	係	青山　征貴	（加賀市）
	係	田中　玲奈	育児休業
	係	今井　貴裕	（能美市・川北町）
	係	黒田　弥那	（小松市）
	係	出嶋健太郎	（小松市）
	臨時	中谷　修一 ※2	（加賀市）

■石川中央グループ

石川中央グループリーダー		西　欣也	（金沢市）
本所	GSL	宮本　克巳 ※1	（白山市）
	GSL	海野　茂喜	（白山市・野々市市）
	GSL	桶谷　英一	（金沢市）
	主査	中尾　友彦	（白山市）
	主査	安田　理恵	（白山市）
	主査	小堀　尭之	（金沢市）
	係	北　武明	（津幡町・内灘町）
	係	谷元　洸介	（金沢市）
	係	麻生　航輝	（白山市）
	係	細山　陽	（津幡町・かほく市）
	係	横山奈津美	（かほく市）
	嘱託	森　祐子 ※2	（金沢市）

■能登グループ

能登グループリーダー		道辻　敬志	（宝達志水町）
本所	GSL	中田　光則	（羽咋市）
	GSL	大畑　邦広	（羽咋市）
	GSL	原　和成	（志賀町）
	係	竹田　香奈	（中能登町）
	係	山内　啓輔	（中能登町・羽咋市）
	係	金田　舜吾	（志賀町）
奥能登支所	支所長兼 GSL	名古谷浩子	（珠洲市）
	GSL	刀祢　直美	（輪島市）
	GSL	出村　寿也	（七尾市）
	GSL	竹田　和也	（七尾市）
	主査	谷内　宏彰	（七尾市・穴水町）
	主査	上野　芳裕	（珠洲市・能登町）
	主査	谷口　雅軌	（輪島市・能登町）
	主査	藤田　尚利	（能登町）
	係	市中　裕作	（七尾市）
	嘱託	清田　和之	（輪島市）

※1：役職定年　※2：定年退職　GSL：グループサブリーダー
（　）担当する市町

■本所

■総務部

総務部長		伊矢野　保
総務課	課長	粟原　誠
	課長補佐	中西　亮一
	課長補佐	飲　成志
	係	山根あやめ
	臨時	土上　智
企画広報課	課長	澤田　一也
	課長補佐	福井　千枝
	課長補佐	土野　宏樹
	係	中井　翔大

■監理室

監理室次長	西出　公英

■事業部

事業部長		鍛治谷繁男
事業1課	課長	松生　朋広
	課長補佐	下出　知明
	係長	道下ゆかり
	係長	大田　伸
	係長	川越　翔太
	係長	吉内　拓哉
	係	島谷　真希
	係	井村　長人
事業2課	課長兼診療所長	志茂　直樹
	課長補佐	見砂　正樹
	係長	門間　俊幸
	係長	川原　崇裕
	係長	堀　亜紗子
	係長	辻　裕也
	係	中川　茉優
	課長補佐兼診療所次長	河合顕太郎
	係長（家畜診療所）	丹羽　竜祐
	嘱託（家畜診療所）	半田　勇
	臨時（家畜診療所）	本田　学

お世話になりました
【退職】（令和7年3月31日付）
北江　克伸（前監理室長）
松田　雅彦（前総務部長）
土中　竹弥（前南加賀GSL）
地家　佑美（前事業2課）

（石川中央グループ）
横山　奈津美

（南加賀グループ）
出嶋　健太郎

New face
一生懸命
頑張ります！

建物共済
集金業務を廃止、掛金納入は口座振替で

コンプライアンスに沿った対策として、令和7年4月より、継続加入時の建物共済掛金等について、組合事務所外でお預かりする集金業務を廃止しました。これにより、共済掛金等の納入は口座振替のみの対応となります。

NOSAIでは、法令遵守態勢の強化による経営の健全化に取り組んでいます。ご理解とご協力をお願いします。

収入保険
保険料の一部が市町から助成されます

各市町から、令和7年4月から令和8年3月の収入保険加入者へ保険料等の一部が助成されます。

※各市町ごとに、助成基準が異なります。

【実施市町】
加賀市・小松市・能美市・津幡町・かほく市・宝達志水町・羽咋市・穴水町・輪島市

7月から9月までのうごき

7月
- 大豆共済掛金納入
- 水稲共済掛金納入

8月
- 水稲共済 損害評価(～9月)

9月
- 理事会
- 令和8年産麦共済加入申込(10日～10月10日)

農業経営に役立つ情報をお届け!
農業共済新聞
2か月無料試し読みキャンペーン実施中
●月4回(水曜日)発行
●年間購読料5,520円

ニーズ調査実施中

共済対象品目のうち、現在石川県で実施されていない品目について、加入希望がありましたら、組合までご連絡ください。

事故発生の連絡は遅滞なく

共済事故が発生したら、職員が事故の現地を確認します。連絡が遅れ事故の原因が特定できない場合、共済金をお支払いできないことがあります。

7月・8月はイノシシ被害防止強化月間です

県内のイノシシによる農作物被害の約6割が水稲被害です。被害が起こる前に、地域で協力して「防護柵の点検」「周辺環境の管理」「捕獲の強化」に取り組みましょう。

お便りコーナー

「虹」に載っている若い人たちの目の輝きと笑顔が素敵で、ほっこりしました。私には高2になる男の孫がいます。勉強はしませんが、学校で園芸を学んでいます。「畑作業が楽しい」「18歳になったらトラクタの免許を取る」と話してくれて頼もしいです。

(かほく市　Mさん)

地震が起きると思いませんでした。早く総合共済に加入していればよかったと思いました。今年の3月にやっと内容変更したので、安心です。

(加賀市　Mさん)

皆さんの声を募集します

NOSAIや広報紙へのご意見、身近な話題や農業について思うことをお聞かせください。お寄せいただいた声はお便りコーナーで紹介させていただくことがあります。

41号クイズ当選者(敬称略)

山岸　正臣
高畠　秀昭
西田　清明
藤田　裕
松田　宣治

きらきらひかる —えがお輝く石川の星—

羽咋市
芝田　惇平さん(23歳)

農家の力になりたい

羽咋市役所の農林水産課に勤務しています。小さい頃から地域の方が農作業する姿を見て育ったので、仕事を通して農家の皆さんの手助けができて嬉しいです。甘いものとコーヒーが大好きです。これからも時間を大切にして、様々なことに挑戦したいです。

白山市
坂野　彩華さん
(31歳)

休日の気分転換は・・・

能美市役所に勤務し、4月から税務を担当しています。異動前は、農林関係の部署で、農機具に関する業務でした。農家の皆さんには、いつも優しく接していただき、いろいろと教えてもらいました。休日は、旅行やサウナ巡りで、リフレッシュしています。

人のつながりに感謝

コロナ禍で大学生活がうまくいかず、知り合いのナシ農家を手伝いしたことがきっかけで、ナシ農家になることを決意しました。お世話になった進学塾シップスの講師のアルバイトもしています。今の自分があるのは、人とのつながりのおかげです。

加賀市
髙橋　佑太さん(25歳)

輪島市
上野　篤史さん
(25歳)

地域の安全を守ります

地震や豪雨で奥能登地域の変わり果てた街並みや農地を見ると、胸が痛いです。消防士として、地域の安全を守るため、迅速な判断と冷静な対応を心掛けています。小さい頃、祖父母の田植えを手伝いに行きました。懐かしい思い出です。

白山市
内山　遥輝さん(24歳)

Iターンで米農家に就職

実家は鹿児島県で、牛の肥育農家をしています。畜産以外の農業に興味があり、米農家の(有)ばんばに就職しました。稲作は暑い季節の作業が多く、体力がいります。昨年から田植機のオペレーターを任せてもらうようになり、一層作業が楽しくなりました。

大豆共済 共済金を支払いました

加入方式	全相殺方式
被害名	土壌湿潤害・干害
支払戸数	36戸
支払共済金	14,962,872円
支払日	令和7年3月28日

組合ホームページ

組合ホームページで、各事業の内容や情報開示、採用情報のほか、パンフレットや公告もご覧いただけます。電話やメールのお問合せにも対応しています。

NOSAI石川　検索

石川県農業共済組合

■本　所■
〒920-0007
金沢市田中町か 26 番地 1
TEL 076-239-3111（代）
FAX 076-203-0031
E メール
kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

NOSAI石川
ホームページ

NOSAI石川
Facebook

LINE公式アカウント
はじめました

友達追加は
コチラから

各グループのお問い合せ先は
こちら

【本所別館】
〒920-0007
金沢市田中町か 12 番地 1

南加賀グループ
TEL　076-239-2355
（加賀市・小松市・能美市・川北町）

石川中央グループ
TEL　076-239-2555
（白山市・野々市市・金沢市・かほく市・津幡町・内灘町）

能登グループ
TEL　076-239-2455
（羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町）

【奥能登支所】
〒928-0313
鳳珠郡能登町字天坂に 1 番地 1
TEL　0768-76-2251
（七尾市・輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）

NOSAI石川広報紙「虹」
夏号　vol.42
2025年7月発行

安心のネットワーク NOSAI

令和８年度　新規採用　職員募集

〈応募締切〉令和７年８月 29 日（金）17 時（獣医師は随時）

詳しい
募集要領は
コチラ

〈問い合わせ〉石川県農業共済組合 企画広報課 採用担当

獣医師

農業保険法に基づく一般業務及び家畜診療に係る業務
①初任給　242,600円
（大学卒獣医師資格取得者）
②応募資格
・大学を卒業又は採用までに卒業される方で、獣医師免許取得又は採用までに獣医師免許を取得される方（昭和 57 年４月２日以降に生まれた方）
・普通自動車運転免許取得又は採用までに取得される方
③試験予定日　随時

一般職

農業保険法に基づく一般業務のほか、加入推進などの外勤業務
①初任給　220,500円（大学卒）
②応募資格
・大学を卒業又は採用までに卒業される方（平成８年４月２日以降に生まれた方）
・普通自動車運転免許取得又は採用までに取得される方
③試験予定日
第１次試験日
令和7年９月30日（火）
第２次試験日
令和７年10月下旬予定

Face to Face

NOSAI部長　浅野（あさの）　清利（きよとし）さん（72歳）

事業推進部の職員が担当地区のNOSAI部長宅を訪問しました。NOSAI部長は農家と組合とのパイプ役。とても頼りになります。

小松市園町
浅野　清利さん

南加賀グループ
福田　貴法

自然災害への備えが大切

町内会長とNOSAI部長を務めて21年が経ちました。その間に離農が進み、今では町内の水田面積の半分以上を請け負っています。

10年ぐらい前から長女が農作業を手伝うようになり、今は農作業全般や事務処理なども任せ、私はサポートに徹しています。

令和２年の大雪により、町内の神社の屋根が損害を受けた際、NOSAIの建物共済の支払いを受け助けられました。自然災害への備えの大切さを痛感しました。

今後も地域農業を守りながら、『地域で一番住みよい町』を目指していきます。

◆経営内容◆　水稲11・5ヘクタール